

大日本スクリーン製造株式会社
Heidelberg Druckmaschinen AG

大日本スクリーンとハイデルベルグがCTPの相互技術提供に合意

大日本スクリーン製造株式会社(以下大日本スクリーン 本社:京都市上京区/社長:石田明)と世界最大の印刷機器の製造・販売会社であるHeidelberg Druckmaschinen AG(以下ハイデルベルグ 本社:ドイツ・ハイデルベルグ市/会長Bernhard Schreier(バーンハード・シュライヤー))は、このたびドイツで開催される世界最大の展示会「drupa2000」*(5月18日~31日)に際し、CTP*²に関する技術開発と技術協力を相互に提供することに5月17日に合意しました。

この両社の技術協力関係の構築は、CTPの技術ノウハウの相互提供を目的としており、品質と生産性のより高いプレートセッターの開発が大幅に促進されることとなります。この合意に基づいたビジネス規模は1,000万~9,000万米ドルになると予想されます。

ここ数年間、大日本スクリーンは非常に完成度の高いプレートセッターを開発し、全自動・高品質・信頼性・生産性の点で評価を得てきました。

一方、ハイデルベルグは製版機器の優れたソリューションを提供し、またCTPシステムの分野において長年の経験を積み上げてきました。この技術の相互提供により、ハイデルベルグは現行のCTPシステムを拡張し、さらに強化していきます。

CTPシステムの世界有数メーカーである大日本スクリーンは、CTPやフィルム出力機をはじめ、スキャナー、ソフトウェア、デジタル色校正システム、RIP、ワークフローやデジタル印刷システムなど幅広いプリプレス製品を提供しています。

印刷ソリューションにおける世界のリーディング・カンパニーであるハイデルベルグ・グループは、枚葉印刷機、ウェブオフセット印刷機、デジタル印刷システムやデジタルプリプレス機器、ソフトウェアや後工程*³のソリューションを開発・販売し、あらゆる市場やニーズに対応して、それらを1つの完成したソリューションに統合し提供していきます。

注: *1 「drupa2000」: 4~5年に一度ドイツ・デュッセルドルフ市で開催される世界最大の印刷総合機材展。開催日は2000年5月18日~31日。

*2 CTP: Computer-to-Plate(コンピュータ・トゥ・プレート)の略語。印刷データを直接印刷版に露光する装置(プレートセッター)のこと。この装置の導入により、従来のフィルムを使用した露光装置で構成される印刷工程を飛躍的に効率化できる。

*3 後工程: 印刷工程の後の処理工程の総称。例えば、裁断、丁合、製本などの工程が含まれる。

報道機関各位からのお問い合わせ先
Heidelberg Druckmaschinen AG
Thomas Fichtl
Public Relations
Tel.: +49-6221-92-4747
Fax: +49-6221-92-5046
E-mail: thomas.fichtl@de.heidelberg.com

大日本スクリーン製造株式会社
広報室
Tel: 075-414-7131
Fax: 075-431-6500
Email: company@screen.co.jp

お客様からのお問い合わせ先
Heidelberg Druckmaschinen AG
Kerstin Lausen
Product Marketing Prepress Output
Tel.: +49-431-386-2712
Fax: +49-431-386-1317
E-mail: kerstin.lausen@de.heidelberg.com

大日本スクリーン製造株式会社
グラフィックアーツ事業本部マーケティング部
広告宣伝課(高橋)
Tel: 075-414-7610
Fax: 075-414-7608
Email: gainfo@screen.co.jp